

国際理解講演会

20.Feb.2020

上田 壮一先生(一般社団法人 Think the Earth 理事/プロデューサー)をお招きし、『SDGsと世界のソーシャルデザイン』という演題でご講演いただきました。国際コミュニケーションコースの生徒が参加し、これからの社会、これからの自分について考え、行動するためのたくさんの示唆をいただきました。





生徒の気づき・感想

・普段あたりまえに考えている考え方をただ受け入れるのではなく、発想の転換が大切で、みんなが幸せになれる世界にするために違った視点から主体となって考えることが大切だとわかった。

・何かを伝えるためには言葉を使うことがわかりやすい方法だと思っていたけど、言葉を使わないこと、デザインで、より人の心を大きく動かせることを知った。また私たちと同世代の人たちが、世界を変えるために自分たちで発案し、実行にうつしているということに衝撃を受け、自分も関わってみたいと思った。

・発想を変えるということは自分で新しい未来を創ることだと思った。今のあたりまえを疑い、新しく気づいたりするには、自分をよく知ることも大事なのではないかと思った。自分を持っているからこそ自分にしかできない発想があると思う。同時に周りをよく知ることはすごく大切だと思った。

・SDGsや環境問題など、目標を肯定／否定し、見つめるだけでなく、自分ならどうするか、あの人ならどうするか、様々な視点から解決・改善策を見つけるというのは、社会に役立つだけでなく自分自身もたくさんの経験をするにつながら、自らの糧になるので面白いと思う。「当たり前」を壊すのはたやすいことではないが、私は今後あらゆることに「なぜ・どうして」と問う姿勢を大切にしたい。

・「未来はいつか来るものではなく創り出すもの」、「心が動かなければ身体も動かない」という言葉が印象に残った。

・デザインとは形あるものだけではなく、行動や取り組みなど形がないものも含まれていて、「志の美しさ」が重要なのだと思った。

・「Transforming our world」という言葉がまず印象に残った。まず途上国の発展を考え、そのうえで世界で成長していくことが大切だと学んだ。「若者は明日のリーダーではなく、今日のリーダーである」という言葉を心にとめ、もっと自分から行動していきたいと思った。